

平成29年度 第2回

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議

介護保険に関する会議

議 題

- (2) 介護ロボット等を活用した
「先進的介護」の実証・実装

取組説明 「介護ロボット等を活用した『先進的介護』の実証・実装」

北九州市保健福祉局先進的介護システム推進室

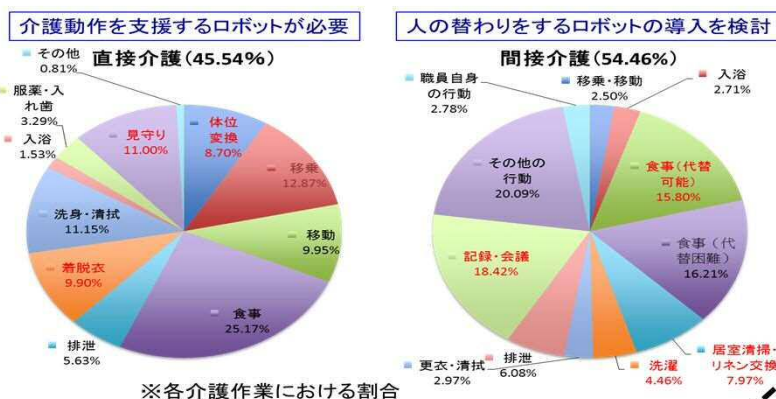
平成28年度

施設の介護作業の観察・分析

- 介護者の活動量、心拍数、作業姿勢
- ～介護者の30秒ごとの作業観察
- ～理学療法士・作業療法士がOWAS法※による分析
- ～2つの介護施設において作業観察延べ330時間、120人

【分析結果】

介護ロボット直接介護と間接介護 (人に接する作業と人に接しない作業)



1. 高齢者に接していない作業(記録や会議等)に介護ロボット等導入
⇒直接介護の時間を増やすことで介護の質の向上を図る
2. 不良姿勢に介護ロボットを導入⇒身体的負担を軽減
「体位変換」「更衣・清拭」「移乗・移動」「排泄」
※OWAS法:姿勢分析方法

介護ロボット等の実証・実装

○5分野7種類の介護ロボット等の導入

【介護従事者の意見】

1. 身体的負担の軽減
「抱える必要がなくなった」「腰の負担が減った」
2. 機器を使うことへの不安、精神的負担の増加
「操作ミスが心配」「時間がかかる」「何度もセンサーが鳴り負担」
- 3.モチベーションの増加

【高齢者への影響】

1. 積極的な行動や意欲の増加
「自ら“歩きたい”と言うようになった」「意欲が出て日課となった」
2. 精神的負担の増加
「抱えられることで、表情や手足の緊張が増加」

介護ロボット導入の環境整備

- 「国家戦略特区制度」による環境整備
介護施設の共同生活室2つの一体的活用を可能とする
- 開発メーカー、大学等学術研究機関、保健福祉医療関係機関と連携体制

平成29年度

実証施設: 5施設(公募)

- 平成28年度(2か所): 「サポートセンター門司(社福)孝徳会」「好日苑大里の郷(社福)春秋会」
- 平成29年度(3か所): 「聖ヨゼフの園(社福)援助会」「足原のぞみ苑(社福)広寿会」「杜の家(社福)無可有の郷」

介護ロボットマスター育成講習 ※H29上期: 15名修了

- 対象: 実証施設のリーダー職員や介護業務を担う職員
- 内容: ・導入にあたっての安全対策や活用の理解、実機操作訓練
・施設や入居者の状態に応じた適切な活用方法の確立
・将来的には介護現場とメーカーとのコーディネーターをめざす

北九州市
介護ロボット実証
倫理審査委員会
(医師、弁護士、学識
経験者など6名)

ワーキンググループ
(実証施設と、
医療・福祉関係者、
学識経験者など10名)



介護ロボット等を理解してから介護現場へ

迅速な導入

意見交換・評価への反映

介護ロボット等の実証・実装 ※H29上半期実証機器

時間的負担の軽減



記録時間の効率化
スマートヘルパー
(インフォメックス)



職員間の情報共有の効率化
インカムDJ-P221(M)
(アルインコ)※代理店経由



夜間巡回の効率化
見守りシステム
ネオステア
(ノリツプレジジョン)

身体的負担の軽減



移乗・立ち座り時の姿勢改善
屋内移動アシスト装置
(安川電機)



移乗アシスト装置
(安川電機)



浴室
天井走行型リフト
(ハンディケア)

高齢者の自立支援



機能訓練時の負担軽減
歩行促進システム
Tree
(リーフ)
～ 秋以降の導入 ～

調査結果や従事者等意見

調査・分析、評価方法の検討

- 調査・分析
介護ロボット等の導入前と導入後の作業観察
- 導入介護ロボットの検討<後期>
作業観察の結果や施設の意向を参考にしながら検討
- 介護現場と開発メーカーによる検討
開発コンソーシアムの充実とともに実施
- 介護作業マニュアル、記録の検討
・負担軽減につながる介護作業の基本マニュアルの作成
・帳票の整理や記録のあり方など
- 自立支援に関する検討

意見交換・評価・開発への反映

介護ロボット
開発コンソーシアム
(開発メーカー、大学、
関係機関: 31団体)



今後

介護ロボット等を活用した 先進的介護の推進に向けた3つの促進

- 介護職の専門性の向上や女性、高齢者等の新たな働き方の促進、雇用の創出
- 自立支援や入居者のQOLの向上支援の促進
- 介護ロボット産業の集積と開発・改良の促進